

新発田市 平成 30 年度 第 2 回定例記者会見

1 日 時 平成 30 年 5 月 7 日（月）午前 11 時～

2 場 所 ヨリネスしばた 502 会議室

3 内 容

- 防犯カメラ設置補助金
- 新発田市社会福祉協議会の「赤い羽根福祉基金第 3 回助成事業」採択
- NPO 法人ユー&ミーの会の「第 2 回食育活動表彰」受賞
- 「食のアスpara横丁、味めぐり」
- 「ふとっparaプレミアム」限定販売
- 札の辻広場のイベント「しばた“つながる”デザイン展 ～新発田・新発見！～」
- 講演会「指導中におけるパワハラ撲滅に向けて」
- 札の辻広場のイベント「しばた軽トラ市 ～札の辻マーケット～」
- 「剣龍峡山開き・安全祈願祭」
- 「二王子岳山開き・安全祈願祭」
- 「さかなまつり 2018『網はずし体験』」
- 「春季趣味の展示会」
- 家族のつどい「山菜採り&クッキング」
- 「市民釣り大会」
- 「文芸しばた」作品募集

あいさつ

- 本日、「いのちの電話」の街頭宣伝を行いました。ご協力いただいた新聞社の皆さん、ありがとうございます。ぜひ、一人ぼっちではないということを記事にさせていただき、自殺防止につながっていけばいいと思っています。
- 前回の会見でもご紹介しましたが、台湾^{きんか}金厦旅行社のツアーの中で、札の辻ラウンジを会場に、新発田ブランド認証事業者による物販を行っています。
- これまで、4月20日・27日の2回行いました。私も職員と一緒に出迎えましたが、市長が迎えるというのは、台湾の皆さんにとっては珍しいことなのか、ツーショット写真を随分撮られました。
- 次回は、5月11日（金）の開催を予定しています。以前にも記事にさせていただきましたが、再度、好評だという意味で記事にさせていただけるとありがたいと思います。

- 情報として紹介しますが、イクネスしばたの民間棟「MINTO館」に、フリースペースが出来ました。これは、「MINTO館」の民間の皆さんが、自主的に作ったものです。
- 行政棟では食事をするスペースがないという市民の皆さんの声があり、1階のロビーに少しスペースがあったため、テーブルとイスを置いて、何とか食事のできる場を提供してほしいと「MINTO館」に話をしたところ、2階の空きスペースに作ろうということになりました。
- 無料で利用できます。維持管理費がかかるのではないですかと尋ねたら、壁に広告を出して、無料で使っていただくということでした。来ていただいたみなさんが、その広告を見るので、広告主にとっては宣伝効果があるということだそうです。
- 市にとっては、たいへんありがたく、また、市と民間との協力体制で、賑わいを創っているということです。
- 冒頭の台湾のことに関して申し上げますと、私の友人が台湾に出店します。
- 台湾には大使館がありません。それに代わるものとして、日本台湾交流協会があります。その台北事務所の所長と、大学の先輩・後輩というつながりがあることを初めて知りました。
- 出店に際して、新発田のパンフレットを持っていってもらい、インバウンド、アウトバウンドで新発田をよろしくお願ひしますと、PR することができそうです。
- そのことが縁で、ダイナミックな交流が始まるのではないかと考えています。

それでは、会見項目を説明いたします。

最初に、防犯カメラ設置補助金について。

- 町内会・自治会、私立幼稚園・保育園、商店街などを対象に、防犯カメラの設置費用の一部を補助します。

- これは、犯罪の起こりにくい安全なまちづくりに向けて、地域の自主的な防犯活動を支援するものです。
- 市では、公共施設などに、年次的に防犯カメラを設置しており、この補助事業と併せて、さらに防犯の効果が高まることを期待しています。
- 6月1日から事前協議の申請を受け付けます。ぜひ、地域の防犯意識醸成に役立てていただきたいと思います。補助率は2分の1以内、上限は30万円です。

次に、市内の団体が、全国的に高く評価された事例を2つ紹介します。

- 1つ目は、新発田市社会福祉協議会の「赤い羽根福祉基金助成事業」への採択についてです。
- これは、中央募金会が設置する「赤い羽根福祉基金」を活用し、既存の制度では対応できない、全国に共通する生活課題・福祉課題の解決を目指すもので、内容が先駆的・モデル的で、全国的な広がり期待されるものを対象として助成されるものです。
- 今回は、全国194件の応募の中から8事業が採択され、同協議会が提案した「孤立化による空き家の増加を予防する多世代参加型プログラムの開発」は、「地域福祉分門」で採択されました。
- 採択された8事業のうち、東京都が5つ、愛知県と兵庫県が1つずつと、軒並み大都市圏が並ぶ中で、新潟県から唯一新発田市が選ばれたことは、その取組が如何に高く評価されたかということの証明であろうと思います。
- 事業内容は、ひとり暮らしの高齢者や、生きづらさを抱える若者などを対象に、見守りなどの既存事業と、生前整理や若者の就労支援などの新規事業を組み合わせるとともに、地域を基盤とした社会的孤立に関する新たなネットワークを構築するものです。
- 社会的孤立から空き家が増えていくことは、当市にとっても大きな課題です。当市においても、空き家対策としての「空家バンク制度」や、孤立防止のための見守りなど、個別の取組を重ねてきましたが、これらを一連のプロセスとして結び付けることで、より大きな効果が期待できます。

- 事業実施の段階においては、当市としても大いに協力したいと考えています。
- 一人暮らしの皆さんの、空き家になる一歩手前の予防に重点を置いたということが、今回の採択のポイントになったのではないかと思います。
- 2つ目は、「NPO 法人ユー&ミーの会」の「食育活動表彰」受賞についてです。
- これは、農林水産省の主催で、食育に関係する団体などを対象に、その功績を称えるとともに、取組内容を広く国民に周知し、全国的に展開していくことを目的に表彰されるものです。
- 当市では、たい肥を活用した土づくりによって、安心・安全な農産物を作り、その農産物を調理し、食べた後の^{ざんさ}残渣をまた土に返す、「食の循環によるまちづくり」を進めています。
- 「ユー&ミーの会」は、これまで、家庭生ごみの堆肥化や、小・中学校での給食^{ざんさ}残渣の分別指導・回収などのほか、子どもたちの農業体験、なるべく残渣を出さない親子料理教室など、長年にわたり、まさに「食の循環によるまちづくり」の中心的な役割を担ってきました。
- この度、その功績が認められ、「ボランティア部門 食育推進ボランティアの部」の「消費・安全局長賞」を、県内の団体として初めて受賞されました。推薦した当市としても、たいへん喜ばしく思っています。
- 両団体とも、活動の成果が全国的に認められたものであり、これを契機に、さらに活動が発展することを期待しています。

次に、新発田産アスパラガス話題を2つ紹介します。

- 1つ目は、12回目を迎えた「食のアスパラ横丁、味めぐり」です。これは、市内の飲食店で、新発田産のアスパラを使った創作料理が楽しめる恒例のイベントです。
- 今年は、新規13店舗を含む58店舗が、お馴染みの「アスパラみどりカレー」をはじめ、和・洋・中華から、パンやスイーツまで、個性豊かな料理を提供します。

- また、「イタリア・パルマ産生ハム巻きソテー」や「アスパラの^{バンバンジー}棒棒鶏」、「アスパラ入りマドレーヌ」など、個性豊かな新作メニューが 21 店舗で味わえます。
- さらに、異なる店舗のシールを 3 枚集めて応募すると景品が当たる、スタンプラリーも行います。
- 5 月 31 日（木）まで開催しています。ぜひ、多くの方に新発田のアスパラの魅力を堪能していただきたいと思います。
- 2 つ目は、幻のアスパラガス「ふとっパラプレミアム」の限定販売です。
- 「ふとっパラプレミアム」は、5 月にのみ収穫され、太さが 50 円玉程度の「ふとっパラ」をはるかにしのぐ、重さが 70 グラム以上、太いものだと 500 円玉程度の極太アスパラガスです。
- 太くて、甘く、やわらかい。まさに、幻と呼ぶにふさわしい逸品です。この「ふとっパラプレミアム」を、5 月 31 日（木）まで、JA 北越後農産物販売所で販売しています。
- この機会に、ぜひ多くの方に、この幻のアスパラをご賞味いただきたいと思います。
- 本日は、その現物を用意しました。ぜひ、会見後に取材していただきたいと思います。
- 桜が終わって、あやめが始まるまでの間の、新発田の風物詩「食のアスパラ横丁、味めぐり」を、ぜひ取材していただきたいと思います。
- 最近、新潟市のホテル、レストランなどで、「新発田産アスパラ」とメニューに書いていただいているところが何軒かあるようです。たいへんうれしく思っています。

次に、札の辻広場の公募イベントを紹介します。

- 公募イベント第 4 弾となる「しばた“つながる”デザイン展」は、デザインを通して、新たな新発田の魅力を発見しようというイベントです。

- 5月25日（金）から27日（日）まで、ヨリネスしばた7階の市民ギャラリーで、新発田市を拠点として活動しているデザイナー、新発田出身で全国的に活躍しているデザイナーなど、新発田にゆかりのあるデザイナーの作品を一堂に会して展示します。
- 表参道ヒルズや「現美新幹線」のロゴデザイン、豪華クルーズ列車「四季島」の総合的なアートディレクション、ヨリネスしばたのサインデザインを担当した鈴木直之^{なおゆき}さん、県立新発田病院やハイアット・リージェンシー・ホテル大阪のモニュメントを制作した吉原悠博^{ゆきひろ}さんの作品をはじめ、市内でよく見かけるキャラクターや店舗のデザインなどが紹介され、新発田とデザインの“つながり”を発見することができます。
- また、5月27日（日）には、札の辻広場を会場に、ものづくり体験やワークショップのほか、飲食・物品の販売なども行われ、どなたでも楽しめるイベントです。
- ぜひ、おおぜいの方に、デザインという視点から、新たな新発田の魅力を感じていただきたいと思います。

次に、スポーツに関する講演会を紹介します。

- 6月2日（土）、生涯学習センターで、「指導中におけるパワハラ撲滅に向けて～これからの時代の指導法を考える！～」と題して、講演会を開催します。
- これは、新発田市スポーツ・カルチャーツーリズム推進事業実行委員会が、「スポーツで『人づくり・夢づくり』事業」の一環として行うもので、昨今問題となっている、スポーツ界におけるパワハラ防止に向けて、指導者と選手の関わり方を学ぶものです。
- 講師は、桐蔭横浜大学大学院准教授で、スポーツ心理学が専門の渋倉崇行^{しぶくらたかゆき}さんです。
- 渋倉さんは、新潟市の出身で、高校時代に甲子園に出場したことがあると聞いています。自らの経験と研究に基づいた、実践的なお話をしていただけるものと思っています。

○ぜひ、多くの指導者に参加していただき、今後の指導の一助としていただきたいと思います。

○また、指導者でなくとも、興味のある方はどなたでも参加できますので、多くの方に聞いていただきたいと思います。

このほかの情報としては、札の辻広場のイベントとして、お馴染の「しばた軽トラ市」があります。

また、登山シーズンの幕開けを告げる、剣龍峡と二王子岳の「山開き・安全祈願祭」があるほか、網にかかった魚をはずして持ち帰ることができる「さかなまつり 2018『網はずし体験!』」があります。

さらに、市民団体が日ごろの成果を発表する「春季趣味の展示会」、自然の中で家族の絆を深める「家族のつどい『山菜採り&クッキング』」があるほか、恒例の「市民釣り大会」、「文芸しばた」の作品募集があります。

ぜひ、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田を盛り上げていただきたいと思います。